

平成 29 年 11 月 1 日

報 道 各 位

敦賀市企画政策部ふるさと創生課

水素社会形成計画に向けた有識者会合の開催について

現在策定中の調和型水素社会形成計画につきまして、専門的見地から計画への御意見を伺う有識者会合を開催しますのでお知らせいたします。

つきましては、当日の取材等につきまして、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 開催日

平成 29 年 11 月 22 日 (水) 17:00～19:00

2 場所

TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター カンファレンスルーム 210
(東京都中央区八重洲 1-2-16 TGビル本館 2F)

3 内容

計画骨子案説明、水素関連の研究機関の方向性、有識者による意見交換

4 概要

策定中の調和型水素社会形成計画について、技術的・経済的・社会的実現性等の観点から御意見を伺うため、水素エネルギーや地域経済発展に知見を有する学識経験者に議論をしていただきます。

5 委員 (5 名)

東京工業大学 伊原教授、早稲田大学 小野田教授、
早稲田大学 関根教授、エネルギー総合工学研究所 坂田部長、
みずほ情報総研(株) 瀬戸ロプリンシパル

※その他、水素エネルギーに携わる企業がオブザーバー参加予定

<問合せ先>

敦賀市企画政策部ふるさと創生課

担当：橋本、前田

TEL：0770-22-8111 (内線 303)

有識者会合の主要委員の略歴

早稲田大学 小野田弘士教授

ご専攻：エネルギーマネジメントシステム、スマートエネ熱利用・システムなど

2006年3月、早稲田大学大学院理工学研究科博士後(工学)。2006年4月より早稲田大学環境総合研究センター4月より同准教授。2014年4月より、早稲田大学エネルギー研究科准教授。2016年より教授(現職)。2003大学発ベンチャー、株式会社早稲田環境研究所を設立就任。2011年4月より、同取締役会長。現在は、取

2010年4月より埼玉県環境エネルギー統括参与(非常勤)。
環境省 水素利活用 CO2 排出削減効果評価・検証検討会 委員。
著書「失敗から学ぶ「早稲田式」地域エネルギービジネス」など。



コミュニティ、再
期課程修了。博士
ンター講師。2008
大学院環境・エネ
年8月、環境系の
し、代表取締役に
締役(非常勤)。

東京工業大学 伊原学教授

ご専攻：SOF C/太陽光、エネルギー
1989年 明治大学 工学部 工業化
年 東京大学大学院工学系研究科
士課程 修了。1994年 東京大学大
化学工学専攻 博士課程 修了 博士
年・現在 東京工業大学 学長補佐。
工業大学 教授 物質理工学院応用



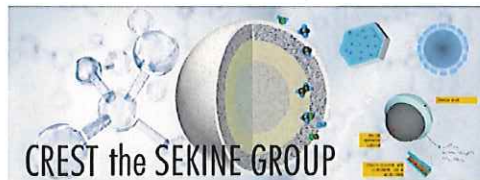
コース(改組)。2016年・東京工業大学 科学技術創成研究院 グローバル水素エネルギー研究ユニット(兼任、主幹事)。
東工大 環境エネルギーイノベーション棟のシステム設計のプロジェクトリーダー。

ギーシステム。
学科 卒業。1991
化学工学専攻 修
学院工学系研究科
(工学)取得。2015
2016年・現在 東京
化学系(エネルギー

早稲田大学 関根泰教授

ご専攻：触媒、水素製造システ
ギー全般にも精通

1995年 東京大学大学院工学系
学専攻修士課程修了。1998年 東
工学系研究科応用化学専攻博士課程修了(博士(工学))。2007-2012年 早
学術院応用化学科 准教授 2012年・早稲田大学理工学術院応用化学科 教
JST フェロー(研究開発戦略センター・環境エネルギーユニットフェロー)
文部科学省 第8期環境エネルギー科学技術委員会 委員、内閣府 エネルギー戦略協議会有識者会議座長など歴任。
JST 超空間 CREST 関根グループ リーダー。



ムなど、エネル

研究科応用化
京大学大学院
稲田大学理工
教授。2011年・
(兼務・出向)。

みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第1部 瀬戸口 泰

北海道大学大学院理学研究科地球物理専攻修了。富士総合研究所(現みずほ情報総研)入社。

主に環境・新エネ分野の研究、温暖化対策関連業務に従事。現在、同社環境エネルギー第1部 プリンシパル。

(一財)エネルギー総合工学研究所 プロジェクト試験研究部 部長 坂田 興

東京大学理学部卒業。東京大学大学院理学系研究科化学専攻課程修了。

現在、財団法人エネルギー総合研究所プロジェクト試験研究部部長。